

株主の皆様へ

# JR-West's Business Report

第27期 中間事業報告

平成25年4月1日～平成25年9月30日

西日本旅客鉄道株式会社

# 株主の皆様へ

平素は、当社の事業運営に格別のご高配を賜り厚く御礼申し上げます。

当社は、平成17年4月25日、福知山線塚口・尼崎駅間において、数多くのお客様を死傷させるという、極めて重大な事故を惹き起こしました。

改めましてお亡くなりになられた方々のご冥福をお祈り申し上げますとともに、ご遺族の皆様、お怪我をされた皆様に対し、心から深くお詫び申し上げます。あわせまして、お客様や株主の皆様並びに地域の方々に、心からお詫び申し上げます。

当社グループは、3月に「JR西日本グループ中期経営計画2017」とその中核をなす「安全考動計画2017」を策定し、「被害に遭われた方々に誠心誠意と受け止めていただけるような取り組み」、「安全性向上に向けた取り組み」、「変革の推進」の「経営の3本柱」を引き続き経営の最重要課題と位置づけたくうえで、経営ビジョンを具体化するため、当社グループの今後の方向性として「めざす未来 ～ありたい姿～」を新たに掲げました。その実現に向け、2017年度までの5年間で「確かな経営の土台をつくり上げる期間」とし、最優先となる「安全」、「CS」、「技術」の「3つの基本戦略」と、「新幹線」、「近畿エリア」、「西日本各エリア」、「事業創造」の「4つの事業戦略」を、重点戦略として推進しているところです。

人口減少やグローバル化、ネットワーク化、地域間格差拡大、価値観の多様化などに加え、対抗輸送機関との競合や昨今の電力問題等、厳しい経営環境が想定されますが、当社グループ一体となって、新たな時代に向けた次の一步を踏み出し、地域と共に歩むとともに、中長期的な企業価値の向上を目指してまいります。

株主の皆様におかれましては、ご理解と一層のご支援を賜りますようお願い申し上げます。

平成25年11月

代表取締役社長 真鍋精志



目 次	
第27期中間事業報告	2
四半期連結貸借対照表	10
四半期連結損益計算書	11
四半期貸借対照表	12
四半期損益計算書	12
「JR西日本グループ中期経営計画2017」	13
「安全考動計画2017」	13
「企業理念」・「安全憲章」	14
JR西日本グループの概要	15
株主様アンケート集計結果のご報告	17
〈株主様限定〉当社施設見学会のご案内	19
株主優待制度	21
JR西日本営業エリアマップ	22
株主メモ	裏表紙

# 第 27 期中間事業報告

(平成 25 年 4 月 1 日から平成 25 年 9 月 30 日まで)

## 1. 企業集団の現況に関する事項

### (1) 事業の経過及び成果

#### ① 全般の状況

当社は、平成 17 年 4 月 25 日、福知山線塚口・尼崎間において、106 名のお客様の尊い命を奪い、500 名を超えるお客様を負傷させるという、極めて重大な事故を惹き起こしました。当社としては、これまでの間、「被害に遭われた方々に誠心誠意と受け止めていただけるような取り組み」、「安全性向上に向けた取り組み」、「変革の推進」を「経営の 3 本柱」と定め、全力で取り組んでまいりました。

3 月には、「JR 西日本グループ中期経営計画 2017」とその中核をなす「安全考動計画 2017」を策定・公表し、「経営の 3 本柱」を引き続き経営の最重要課題と位置づけたうえで、経営ビジョンを具体化するため、「めざす未来 ～ありたい姿～」を新たに掲げました。その実現に向け、「安全」、「CS」、「技術」の「3 つの基本戦略」と、「新幹線」、「近畿エリア」、「西日本各エリア」、「事業創造」の「4 つの事業戦略」からなる重点戦略を現場起点での一人ひとりの考動を通じて推進しているところです。

当期については、「福知山線列車事故追悼慰霊式」や 5 月にご被害者への「ご説明会」を開催するとともに、引き続き被害に遭われた方々への対応を精一杯行ってまいりました。また、この事故を踏まえて設立した公益財団法人「JR 西日本あんしん社会財団」を通じて、「安全で安心できる社会づくり」に寄与する取り組みを実施してまいりました。

「3 つの基本戦略」のうち最優先で取り組むべき「安全」については、「福知山線列車事故のような事故を二度と発生させない」との決意のもと、お客様から「本当に安全で安心できるようになった」と実感していただけるよう、3 月に策定した「安全考動計画 2017」の具体的取り組みを JR 西日本グループあげて取り組んでまいりましたが、残念ながら、9 月に作業中の協力会社の社員が亡くなる労働災害が発生し、改めて「死亡に至る鉄道労災ゼロ」という課題の重さを認識することとなりました。

「CS」については、「顧客起点の経営」を目指し、お客様のニーズや期待に一層お応えすべく取り組みを進めてまいりました。

「技術」については、鉄道オペレーションのシステムチェンジを目指した技術開発を推進するとともに、技術による課題解決を進めてまいりました。

「4 つの事業戦略」の一つである「新幹線」については、新幹線のポテンシャルを高めるために、各種観光キャンペーンの実施やシニア世代・訪日外国人向けサービスの拡充などに取り組んでまいりました。また、北陸新幹線の金沢開業に向けた準備室を金沢支社に開設しました。

「近畿エリア」については、踏切の保安度向上等により輸送品質の高い鉄道をつくるとともに、都市の魅力を磨くために事業開発等を推進してまいりました。

「西日本各エリア」については、エリアの良さや強みを活かすために、エリアに即した事業を展開してまいりました。

「事業創造」については、拠点駅における開発や沿線の魅力向上に資する施策を実施するとともに、事業創造の芽を伸ばすために、ビジネスプロデュース機能を果たす組織の設置、新たな事業分野の開拓・育成等を推進してまいりました。

また、あらゆる職場において課題に対して自律的に解決策を見出す「現場力」の向上や、人材の確保・育成と働きがいの

向上等、企業として健全に経営・運営するための「基盤づくり」の取り組みを進めてまいりました。

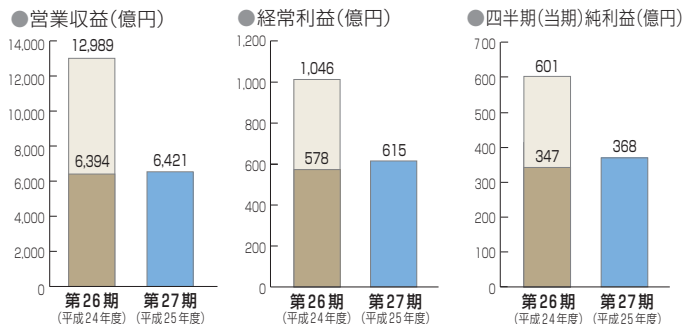
さらに、コンプライアンス、コーポレート・ガバナンス、ディスクロージャー、危機管理及び地球環境の取り組みを通じて、社会の一員としての責任を果たしてまいりました。

なお、今夏は集中豪雨による鉄道被害が多く発生し、山陰本線、山口線及び三江線の一部区間においては現在も不通を余儀なくされていますが、関係自治体と協議を進めながら、全力で復旧に当たっているところです。

当社の経営を取り巻く状況は、対抗輸送機関との競合や昨今の電力問題等、厳しい現状が続いており、今後は、人口減少に加え、グローバル化やネットワーク化、地域間格差拡大、価値観の多様化など、経営環境を見通すことが一段と困難な時代を迎えます。このような状況の中、当社としては、中長期的な企業価値向上を目指し、地域の皆様との交流と連携を深め、JR西日本グループ一体でエリアに即した事業を展開することにより、鉄道の品質を高めるとともに非鉄道事業の拡大と新たな事業創造を促進するなど、持続的成長に向けた土台作りに取り組んでまいりました。

この結果、平成25年4月1日から平成25年9月30日までの連結ベースの営業収益は前年同期比0.4%増の6,421億円、営業利益は同4.3%増の748億円、経常利益は同6.4%増の615億円、法人税等を控除した四半期純利益は同6.0%増の368億円となりました。

#### 〈全般の状況〉



## ②セグメント別の状況

### 〈運輸業〉

鉄道事業においては、福知山線列車事故に係る鉄道事故調査報告書の「建議」「所見」をはじめとする様々ご指摘に対して、引き続き改善に取り組んでまいりました。さらに、「安全考動計画2017」の具体的な取り組みとして、「安全・安定輸送を実現するための弛まぬ努力」を続けるとともに、「リスクアセスメントのレベルアップ」を進め、安全性の向上を図ってまいりました。一例として、在来線における地震発生後の運転規制について、安全の確保を第一に、よりの確な運転規制になるよう取り扱いを変更しました。また、「安全意識の向上と人命最優先の考動」に向けて、事故の重大性を将来にわたって重く受け止め、事故の教訓を体系的に学ぶために設置した「鉄道安全考動館」における社員教育等の取り組みを進めてまいりました。さらに、東日本大震災の教訓を生かして制定した「津波避難誘導心得」及びマニュアルに基づき訓練を実施するなど、地震・津波情報の伝達や避難を円滑に進めるための取り組みを進めるとともに、大規模災害及び事故発生時のお客様救護等の対応能力向上を図るため、各種訓練を実施しました。「安全投資」では、踏切設備の保安度向上、ホームの安全対策に取り組むとともに、地震対策として、高架橋柱の耐震補強工事や山陽新幹線における逸脱防止ガードの整備等に引き続き取り組んでまいりました。

輸送面については、3月に実施したダイヤ改正で、新幹線では「のぞみ」や「さくら」の増発やJR京都線・JR神戸線における新快速の12両運転の拡大等を実施したことにより、山陽新幹線やアーバンネットワークのご利用が好調でした。また、ゴールデンウィーク期間やお盆期間、週末を中心に、新幹線及び在来線特急列車の増発を行い、利便性向上に努めました。

営業面については、対抗輸送機関との競合を踏まえ、「スーパー早特きっぷ」等を発売するとともに、山陽・九州新幹線相互直通運転のご利用定着を図るべく「リメンバー九州キャンペーン」や「名探偵コナン熊本・阿蘇ミステリーツアー」等を展開するなど、新幹線のご利用促進に努めました。また、「広島県デスティネーションキャンペーン」を実施して全国からの集客を図るとともに、「新北陸、発見！キャンペーン」を実施して関西・北陸間のご利用拡大に取り組むなど地域と連携した観光振興を推進しました。加えて、大型商業施設の開業により魅力を増した大阪への更なる集客を目的として、関西鉄道6社が連携した共同宣伝「シティハイク大阪」を実施しました。さらに、主要駅において「訪日外国人向け無料公衆無線LANサービス」を開始するなど、訪日外国人向けサービスの拡充を行いました。

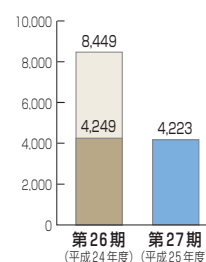
バス事業については、利用動向に応じた輸送改善と柔軟な価格設定の実施により、お客様の利便性向上に努めました。

船舶事業（宮島航路）については、旅行会社への営業活動等、収入の確保に取り組みました。

この結果、運輸業の営業収益は前年同期比0.6%減の4,223億円、営業利益は同3.9%増の571億円となりました。

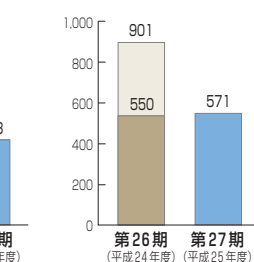
#### 〈運輸業〉

● 営業収益(億円)



■ 第2四半期(累計) □ 通期

● 営業収益(億円)



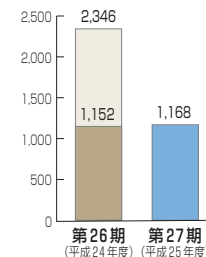
#### 〈流通業〉

「JR大阪三越伊勢丹」では、独自性の高い商品やサービスの提供に努めてまいりましたが、厳しい商環境等を踏まえ、地域のお客様からご支持を得られるような店づくりに取り組むつつ、事業再生を目指した抜本的な対策について検討を進めているところです。また、三ノ宮駅に複合型コンビニエンスストア「アントレマルシェ」やファッション・雑貨店舗を、大阪駅に駅型調剤薬局「駅クオール薬局JR大阪店」をそれぞれ開業するなど、駅の魅力向上に向けた取り組みを推進したほか、ビジネスホテル「ヴィアイン名古屋新幹線口」を開業しました。なお、山陰エリアにおいて異なる業種・業態を展開する連結子会社2社について、より利便性の高い、魅力ある商業施設の開発・運営を目指し、7月に合併しました。

この結果、流通業の営業収益は前年同期比1.4%増の1,168億円、営業利益は20億円となりました。

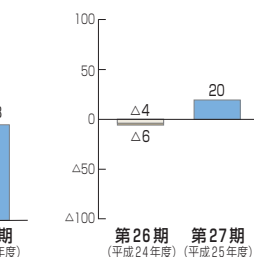
#### 〈流通業〉

● 営業収益(億円)



■ 第2四半期(累計) □ 通期

● 営業収益(億円)



#### 〈不動産業〉

4月に完成した姫路駅ビルについて、既存の高架下ショッピングセンターのリニューアルも含めて新たに「ピオレ姫路」と

して開業したほか、灘駅の新駅ビルや東舞鶴駅ビルを開業するなど、駅及び周辺の開発を推進しました。また、大阪駅周辺地区全体の活性化を図るため、エリアマネジメント活動を周辺事業者と連携して推進しました。このほか、吹田片山町住宅跡地の学校法人への貸し付け等、所有用地の有効活用に取り組みました。

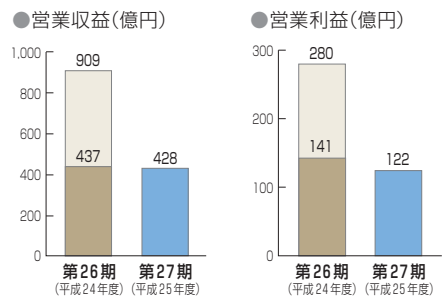
しかしながら、不動産業の営業収益は前年同期比2.2%減の428億円、営業利益は同13.8%減の122億円となりました。

### 〈その他〉

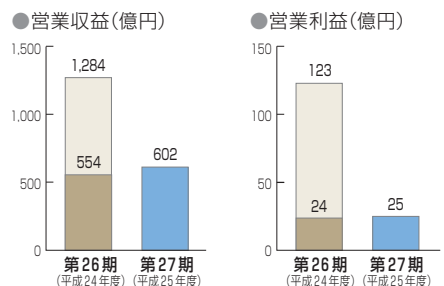
ホテル業については、各種イベントの実施等による販売拡大に取り組みました。旅行業については、インターネット販売の充実等を図るとともに、鉄道利用商品の販売拡大に取り組みました。「J-WESTカード」については、オンライン入会サービスによるカード会員の獲得に努めるとともに、「ICOCA電子マネー」については、3月からの交通系ICカード全国相互利用サービスを最大限活用するとともに市中の大型商業施設への導入等ご利用いただける機会の拡充に取り組みました。また、新幹線停車駅及び京阪神主要10駅で、「レール & カーシェア」を開始するなど、新たな事業分野の開拓と育成を行いました。

この結果、その他の営業収益は前年同期比8.6%増の602億円、営業利益は同3.3%増の25億円となりました。

### 〈不動産業〉



### 〈その他〉



## (2) 対処すべき課題

当社グループは、福知山線列車事故の責任とその重大性を重く受け止め、安全で安心・信頼していただける鉄道を築き上げるために全力で取り組んでいるところであり、引き続き、信頼回復に向けた一層の努力を重ねてまいります。

3月には、「JR西日本グループ中期経営計画2017」を策定し、「被害に遭われた方々に誠心誠意と受け止めていただけるような取り組み」、「安全性向上に向けた取り組み」、「変革の推進」の「経営の3本柱」を引き続き経営の最重要課題と位置づけたうえで、経営ビジョンを具体化するため、「めざす未来 ～ありたい姿～」を新たに掲げました。その実現に向け、「安全」、「CS」、「技術」の「3つの基本戦略」と、「新幹線」、「近畿エリア」、「西日本各エリア」、「事業創造」の「4つの事業戦略」からなる重点戦略を推進するとともに、「基盤づくり」を進め、社会の一員としての責任を果たすことで、長期持続的な成長を目指してまいります。

「経営の3本柱」の一つである福知山線列車事故で被害に遭われた方々への対応につきましては、引き続きご被害者の皆様のご意見等に真摯に向き合うよう努めてまいります。

「3つの基本戦略」のうち最優先で取り組むべき「安全」については、「福知山線列車事故のような事故を二度と発生さ

せない」との決意のもと、安全マネジメントに卓越した企業グループを目指し、3月に策定した「安全考動計画2017」の到達目標である「お客様が死傷する列車事故ゼロ、死亡に至る鉄道労災ゼロ」等へ向け、JR西日本グループをあげて取り組んでまいりましたが、作業中の協力会社の社員が亡くなる労働災害が発生し、改めて「死亡に至る鉄道労災ゼロ」という課題の重さを認識することとなりました。今回の事故に至った原因をしっかりと分析し、必要な対策を講じることで、同種事故を二度と発生させないよう取り組むとともに、これからの4年半の具体的なアクションやプロセスを充実させることで、高い目標の実現に向けて、あらゆる努力を結集して取り組んでまいります。

「CS」については、常にお客様を意識した事業活動が企業文化として定着した「顧客起点の経営」を目指し、お客様のニーズや期待にお応えしていくとともに、輸送障害発生時の影響最小化と案内の充実等の取り組みを推進してまいります。

「技術」については、「安全」と「CS」を支えるための絶え間ない革新により、鉄道オペレーションのシステムチェンジを目指した技術開発を推進するとともに、技術者の育成やフリーゲージトレインの技術開発の前進等、技術による課題解決を図ってまいります。

「4つの事業戦略」の一つである「新幹線」については、安全性と信頼性のさらなる向上と競争力のある輸送サービスの提供に努めるとともに、シニア世代や訪日観光客向けサービスを拡充し、新たな需要を創造してまいります。また、北陸新幹線金沢開業に向けた諸準備を推進するなど、人々の交流を促進し、新幹線のポテンシャルを高めてまいります。

「近畿エリア」については、さらなる安全の追求や徹底した安定輸送対策等により、お客様に繰り返しご利用いただける、輸送品質の高い鉄道をつくるとともに、大阪環状線のブラッシュアップ等により線区価値を向上し、都市の魅力を磨いてまいります。

「西日本各エリア」については、都市間輸送・都市圏輸送の安全性及び利便性向上を図り、デスティネーションキャンペーンを通じた観光振興等、エリアに即した事業を展開するとともに、地域の皆様と持続可能な地域交通の実現を目指すことを通じて、エリアの良さや強みを活かしてまいります。

「事業創造」については、生活関連サービス事業を拡大するとともに、拠点駅の開発の推進や「大阪ステーションシティ・ノースゲートビルディング」の抜本的見直し等を通じてグループ資産の価値を向上させるほか、新たな事業分野の開拓と育成により、事業創造の芽を伸ばしてまいります。

さらに、あらゆる職場において課題に対して自律的に解決策を見出す「現場力」の向上や、人材の確保・育成と働きがいの向上等、企業として健全に経営・運営するための「基盤づくり」の取り組みを具体化してまいります。

また、コンプライアンス、コーポレート・ガバナンス、ディスクロージャー、危機管理及び地球環境の取り組みを通じて、社会の一員としての責任を果たしてまいります。

当社を取り巻く状況は、対抗輸送機関との競合や昨今の電力問題等、厳しい現状が続いており、今後は、人口減少に加え、グローバル化やネットワーク化、地域間格差拡大、価値観の多様化など、経営環境を見通すことが一段と困難な時代を迎えます。このような中、当社としては、「現場起点の考動」を通じ、グループ一体となって新たな時代に向けた次の一歩を踏み出し、地域と共に歩むとともに、中長期的な企業価値の向上を目指して取り組んでまいります。

株主の皆様におかれましては、何卒ご理解とご支援を賜りますようお願い申し上げます。

### (3) 主要な事業内容及び事業所 (平成25年9月30日現在)

当社グループが営んでいる主要な事業内容及び事業所は、次のとおりであります。

#### ①運輸業

鉄道事業のほかに、旅客自動車運送事業等を営んでおります。

- 当社 (大阪市 北区)
- 中国ジェイアールバス(株) (広島市 南区)
- 西日本ジェイアールバス(株) (大阪市 此花区)

なお、鉄道事業の概況は、以下のとおりであります。

事業所	キロ程			駅数 (駅)	車両数 (両)
	新幹線(km)	在来線(km)	合計(km)		
新幹線管理本部	644.0	8.5	652.5	3	985
金沢支社	—	(28.0) 637.0	(28.0) 637.0	164	546
近畿統括本部	—	946.0	946.0	333	3,564
和歌山支社	—	282.5	282.5	86	0
福知山支社	—	331.7	331.7	71	165
岡山支社	—	601.0	601.0	154	380
米子支社	—	605.7	605.7	154	243
広島支社	—	959.3	959.3	257	598
合計	644.0	(28.0) 4,371.7	(28.0) 5,015.7	1,222	6,481

(注) 1. 新幹線管理本部に、福岡支社を設置しております。また、近畿統括本部に、京都・大阪・神戸各支社を設置しております。

2. ( )内の数字は、第三種鉄道事業(七尾線[和倉温泉・穴水間])の別掲であります。また、近畿統括本部の在来線欄には、第二種鉄道事業28.6km(関西空港線[りんくうタウン・関西空港間]、JR東西線[京橋・尼崎間]及びおおさか東線[放出・久宝寺間])を含んでおり、それ以外は第一種鉄道事業のキロ程であります。

第一種鉄道事業…自らの鉄道線路により運送を行う事業

第二種鉄道事業…他の鉄道線路を借り受けて運送を行う事業

第三種鉄道事業…鉄道線路を保有し、第二種鉄道事業者の運送の用に供する事業

#### ②流通業

大阪駅及び京都駅における百貨店業や、主要駅における物販・飲食業等を営んでおります。

- (株)ジェイアール西日本伊勢丹(京都市 下京区)
- (株)ジェイアール西日本デイリーサービスネット(兵庫県 尼崎市)
- ジェイアール西日本商事(株) (大阪府 吹田市)

#### ③不動産業

保有不動産等を活用した不動産販売・賃貸業や、ショッピングセンター運営業を営んでおります。

- 京都駅ビル開発(株) (京都市 下京区)
- 大阪ターミナルビル(株) (大阪市 北区)
- 天王寺SC開発(株) (大阪市 天王寺区)
- ジェイアール西日本不動産開発(株) (兵庫県 尼崎市)

#### ④その他

保有資産を活用したホテル業や広告業、鉄道事業と相乗効果の高い旅行業、各種工事業等を営んでおります。

- (株)ジェイアール西日本ホテル開発(京都市 下京区)
- (株)日本旅行(東京都 港区)
- (株)ジェイアール西日本コミュニケーションズ(大阪市 北区)
- (株)JR西日本テクシア(兵庫県 尼崎市)
- 西日本電気システム(株) (大阪市 淀川区)

## (4) 従業員の状況 (平成25年9月30日現在)

### ①企業集団の従業員の状況

セグメントの名称	従業員数(名)
運 輸 業	28,293
流 通 業	2,388
不 動 産 業	949
そ の 他	14,497
合 計	46,127

(注) 従業員数は、就業人員数を記載しております。

### ②当社の従業員の状況

従業員数(前期末比増減)	平均年齢	平均勤続年数
27,370名(481名増)	39.8歳	15.5年

- (注) 1. 従業員数は、就業人員数を記載しております。  
 2. 日本国有鉄道における勤続年数を通算した平均勤続年数は、全従業員で19.0年であります。  
 3. 平均年齢及び平均勤続年数は、従業員数から受入出向者数(506名)を除いたものについての数値であります。

## 2. 株式に関する事項 (平成25年9月30日現在)

(1) 発行可能株式総数 800,000,000株

(2) 発行済株式の総数 198,256,600株

- (注) 1. 発行済株式の総数には、自己株式4,522,173株を含んでおります。  
 2. 平成25年10月29日開催の取締役会の決議に基づき、平成25年11月15日に自己株式4,521,600株(消却前の発行済株式の総数に対する割合2.28%)の消却を実施いたしました。消却後の当社の発行済株式の総数は、193,735,000株であります。

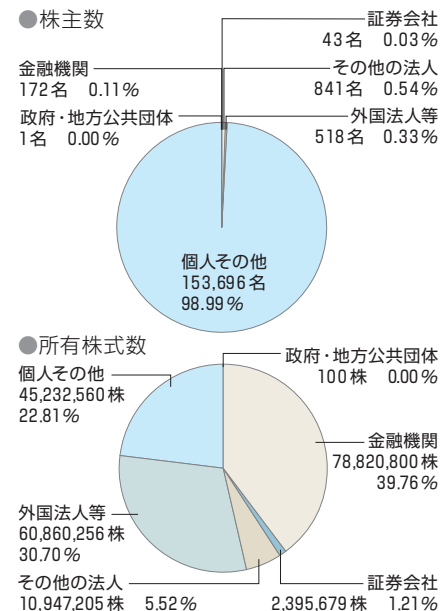
(3) 株主数 155,271名

(4) 大株主(上位10名)

株 主 名	持株数(持株比率)
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	8,936,700株(4.61%)
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口)	7,984,600(4.12)
株式会社みずほ銀行	6,450,000(3.33)
株式会社三井住友銀行	6,400,000(3.30)
株式会社三菱東京UFJ銀行	6,300,000(3.25)
JR西日本社員持株会	4,586,400(2.37)
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口9)	4,185,600(2.16)
日本生命保険相互会社	4,000,000(2.06)
三井住友信託銀行株式会社	3,200,100(1.65)
THE CHASE MANHATTAN BANK, N.A. LONDON SECS LENDING OMNIBUS ACCOUNT	2,937,658(1.52)

(注) 持株比率の算定にあたっては、発行済株式の総数から自己株式4,522,173株を除いております。

## (5) 所有者別分布状況



(注) 「個人その他」には、自己株式4,522,173株を含んでおります。

### 3. 会社役員に関する事項 (平成25年10月1日現在)

#### (1) 取締役及び監査役

取締役会長 (取締役会議長)	佐々木 隆之	
取締役	石川 正	弁護士法人大江橋法律事務所 特別顧問
取締役	佐藤 友美子	追手門学院大学地域文化創造機構 特別教授
取締役	村山 裕三	同志社大学大学院ビジネス研究所 教授
取締役	齊藤 紀彦	株式会社きんでん 代表取締役会長
取締役	宮原 秀夫	大阪大学大学院情報科学研究科 特任教授 大阪瓦斯株式会社 社外取締役
代表取締役社長 兼 執行役員	真鍋 精志	福知山線列車事故ご被害者対応に関すること
代表取締役副社長 兼 執行役員	山本章 義	社長補佐全般、安全性向上に関すること 鉄道本部、安全研究所、構造技術室、 建設工事部担当 (鉄道本部長)
代表取締役副社長 兼 執行役員	矢吹 静	社長補佐全般、創造本部担当 (創造本部長)
代表取締役副社長 兼 執行役員	来島 達夫	社長補佐全般、変革の推進に関すること 福知山線列車事故ご被害者対応本部、 総合企画本部、広報部、人事部、財務部担当 (福知山線列車事故ご被害者対応本部長)
取締役 兼 常務執行役員	柴田 信	IT本部、鉄道本部営業本部担当 (鉄道本部副本部長、鉄道本部営業本部長)
取締役 兼 常務執行役員	堀坂 明弘	福知山線列車事故対策審議室、企業倫理・リスク 統括部、秘書室、総務部、監査部、東京本部担当 (福知山線列車事故対策審議室長、企業倫理・ リスク統括部長、総務部長)
取締役 兼 常務執行役員	長谷川 一明	近畿統括本部担当 (近畿統括本部長)
取締役 兼 常務執行役員	吉江 則彦	鉄道技術の革新に関すること 鉄道本部技術部、鉄道本部新幹線統括部担当 (鉄道本部副本部長、鉄道本部新幹線統括部長)
常勤監査役	菊池 保孝	
常勤監査役	岩崎 勉	
監査役	宇野 郁夫	日本生命保険相互会社 相談役、トヨタ自動車株式会社 社外取締役、 パナソニック株式会社 社外取締役、富士急行株式会社 社外取締役、 小田急電鉄株式会社 社外取締役、東北電力株式会社 社外監査役、 株式会社三井住友フィナンシャルグループ 社外監査役
監査役	勝木 保美	勝本公認会計士事務所 公認会計士 住友精化株式会社 社外取締役、 サカタインクス株式会社 社外監査役

- (注) 1. 取締役石川正、佐藤友美子、村山裕三、齊藤紀彦及び宮原秀夫の5氏は、会社法第2条第15号に定める社外取締役であります。  
2. 常勤監査役岩崎勉、監査役宇野郁夫及び勝木保美の3氏は、会社法第2条第16号に定める社外監査役であります。

#### (2) 執行役員

常務執行役員	白取 健治	(安全研究所長)
常務執行役員	川上 優	(鉄道本部副本部長、 鉄道本部安全推進部長)
常務執行役員	松浦 克宣	(財務部長)
常務執行役員	二階堂 暢俊	(総合企画本部長、東京本部長)
執行役員	野中 雅志	(金沢支社長)
執行役員	大久保 敬雄	(鉄道本部電気部長)
執行役員	荻野 浩平	(建設工事部長)
執行役員	生駒 隆生	(岡山支社長)
執行役員	倉坂 昇治	(近畿統括本部副本部長、 近畿統括本部大阪支社長)
執行役員	緒方 文人	(広報部長)
執行役員	杉岡 篤	(広島支社長)
執行役員	今井 克己	(人事部長)
執行役員	国広 敏彦	(近畿統括本部副本部長、 近畿統括本部神戸支社長)
執行役員	福嶋 圭	(福知山線列車事故ご被害者対応本部副本部長)
執行役員	横山 佳史	(米子支社長)
執行役員	半田 真一	(和歌山支社長)
執行役員	児島 邦昌	(IT本部長)
執行役員	森川 国昭	(鉄道本部運輸部長)
執行役員	中村 圭二郎	(新幹線管理本部長)
執行役員	江尻 憲昭	(近畿統括本部副本部長、 近畿統括本部大阪総合指令所長)
執行役員	伊勢 正文	(創造本部副本部長)
執行役員	藏原 潮	(近畿統括本部副本部長、 近畿統括本部京都支社長)
執行役員	土肥 弘明	(福知山支社長)
執行役員	酒井 俊臣	(東京本部副本部長)
執行役員	井上 敬章	(新幹線管理本部副本部長、新幹線管理本部福岡支社長、 鉄道本部営業本部九州営業部に関すること)
執行役員	岩崎 悟志	(創造本部副本部長)

#### (3) 技術理事

技術理事	松田 好史	(構造技術室長)
技術理事	土田 克己	(建設工事部副部長、 建築・設備に係る社長特命事項に関すること)
技術理事	田仲 文郎	(鉄道本部技術部長、 技術・技能に係る社長特命事項に関すること)
技術理事	平野 賀久	(鉄道本部保安システム室長)

# 四半期連結貸借対照表

(平成25年9月30日現在)

(単位 百万円)

科 目	当第2四半期連結会計期間
<b>(資産の部)</b>	
<b>流動資産</b>	<b>244,372</b>
現金及び預金	44,814
受取手形及び売掛金	16,543
未収運賃	27,264
未収金	35,506
たな卸資産	51,294
繰延税金資産	18,960
その他の	50,649
貸倒引当金	△ 662
<b>固定資産</b>	<b>2,342,444</b>
有形固定資産	2,097,454
建物及び構築物	1,064,647
機械装置及び運搬具	281,781
土地	659,782
建設仮勘定	59,510
その他	31,732
無形固定資産	30,901
投資その他の資産	214,088
投資有価証券	65,568
繰延税金資産	119,919
その他の	29,853
貸倒引当金	△ 1,253
<b>繰延資産</b>	<b>102</b>
<b>資産合計</b>	<b>2,586,919</b>

科 目	当第2四半期連結会計期間
<b>(負債の部)</b>	
<b>流動負債</b>	<b>454,462</b>
支払手形及び買掛金	38,702
短期借入金	32,813
1年内返済予定の長期借入金	38,130
鉄道施設購入未払金	39,406
1年内支払予定の長期未払金	31
未払金	43,172
未払消費税等	5,637
未払法人税等	24,739
前受運賃	38,548
前受金	42,943
賞与引当金	34,907
ポイント引当金	1,584
その他の	113,843
<b>固定負債</b>	<b>1,336,663</b>
社債	459,974
長期借入金	255,895
鉄道施設購入長期未払金	193,900
長期未払金	112
繰延税金負債	396
退職給付引当金	305,377
環境安全対策引当金	10,547
未引換商品券等引当金	2,407
その他の	108,052
<b>負債合計</b>	<b>1,791,125</b>
<b>(純資産の部)</b>	
<b>株主資本</b>	<b>768,719</b>
資本金	100,000
資本剰余金	55,000
利益剰余金	635,715
自己株式	△ 21,996
<b>その他の包括利益累計額</b>	<b>4,251</b>
その他有価証券評価差額金	3,819
繰延ヘッジ損益	431
<b>少数株主持分</b>	<b>22,823</b>
<b>純資産合計</b>	<b>795,794</b>
<b>負債・純資産合計</b>	<b>2,586,919</b>

(注) 記載金額は、百万円未満を切り捨てて表示しております。

# 四半期連結損益計算書

(平成25年4月1日から平成25年9月30日まで)

(単位 百万円)

科 目	当第2四半期連結累計期間
営 業 収 益	642,197
営 業 費	567,370
運輸業等営業費及び売上原価	480,936
販売費及び一般管理費	86,434
営 業 利 益	74,826
営 業 外 収 益	1,590
受 取 利 息	27
受 取 配 当 金	281
受託工事事務費戻入	82
持分法による投資利益	294
そ の 他	905
営 業 外 費 用	14,854
支 払 利 息	14,186
そ の 他	667
経 常 利 益	61,563
特 別 利 益	3,329
工事負担金等受入額	2,711
そ の 他	617
特 別 損 失	3,924
工事負担金等圧縮額	2,645
そ の 他	1,279
税金等調整前四半期純利益	60,967
法人税、住民税及び事業税	23,482
法人税等調整額	217
少数株主損益調整前四半期純利益	37,267
少 数 株 主 利 益	404
四 半 期 純 利 益	36,862

(注) 記載金額は、百万円未満を切り捨てて表示しております。

# 四半期貸借対照表

(平成25年9月30日現在)

(単位 億円)

科 目	当第2四半期会計期間
<b>(資産の部)</b>	
流動資産	1,757
固定資産	21,337
鉄道事業等固定資産	17,531
建設仮勘定	576
投資その他の資産	3,230
<b>資産合計</b>	<b>23,094</b>
<b>(負債の部)</b>	
流動負債	4,664
1年内返済予定長期借入金等	755
未払金等	3,908
固定負債	12,106
社債・長期借入金等	9,023
退職給付引当金	2,849
その他の固定負債	233
<b>負債合計</b>	<b>16,771</b>
<b>(純資産の部)</b>	
株主資本	6,290
資本金	1,000
資本剰余金	550
利益剰余金	4,957
自己株式	△ 216
評価・換算差額等	32
<b>純資産合計</b>	<b>6,323</b>
<b>負債・純資産合計</b>	<b>23,094</b>

(注) 記載金額は、億円未満を切り捨てて表示しております。

# 四半期損益計算書

(平成25年4月1日から平成25年9月30日まで)

(単位 億円)

科 目	当第2四半期累計期間
<b>営業収益</b>	<b>4,335</b>
運輸収入	3,886
運輸附帯収入	95
関連事業収入	115
その他収入	238
<b>営業費</b>	<b>3,712</b>
人件費	1,172
物件費	1,613
線路使用料等	118
租税公課	179
減価償却費	628
<b>営業利益</b>	<b>623</b>
<b>営業外損益</b>	<b>△ 126</b>
営業外収益	15
営業外費用	142
<b>経常利益</b>	<b>496</b>
<b>特別損益</b>	<b>△ 3</b>
特別利益	30
特別損失	33
<b>税引前四半期純利益</b>	<b>493</b>
<b>法人税等</b>	<b>188</b>
<b>四半期純利益</b>	<b>304</b>

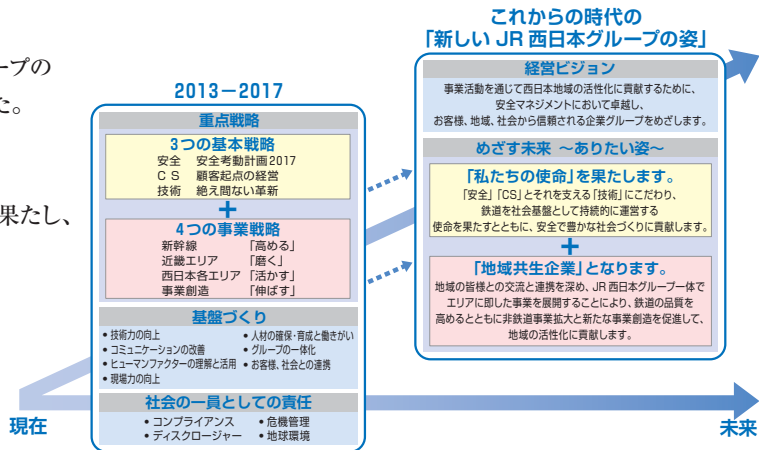
(注) 記載金額は、億円未満を切り捨てて表示しております。

# 「JR西日本グループ中期経営計画2017」

(平成25年3月策定)

## 中期経営計画のあらまし

経営ビジョンを具体化するため、JR西日本グループの「めざす未来～ありたい姿～」を新たに掲げました。「3つの基本戦略」と「4つの事業戦略」からなる「重点戦略」を実行するとともに、「基盤づくり」を進め、「社会の一員としての責任」を果たし、これからの時代の「新しいJR西日本グループ」の実現に向けて、「次の一歩」を踏み出します。



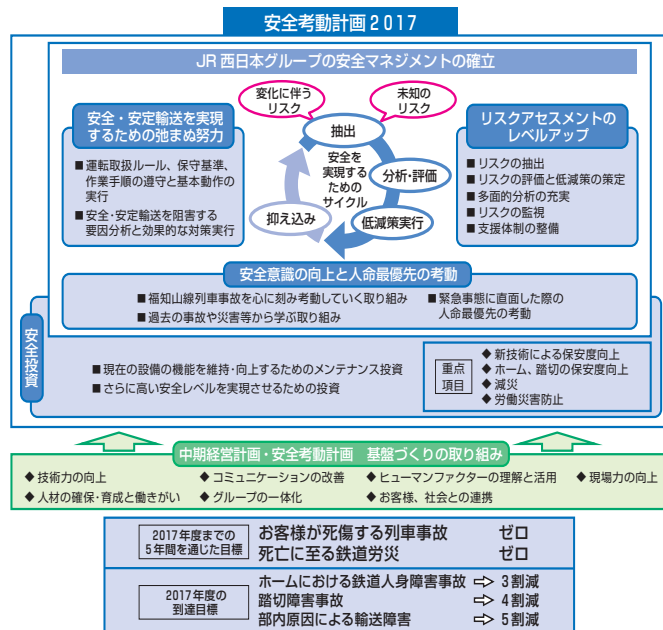
## 「安全考動計画2017」

(平成25年3月策定)

「福知山線列車事故のような事故を二度と発生させない。」これは、JR西日本グループの責務であり、変わらぬ決意です。

この決意のもと、JR西日本グループの鉄道サービスをご利用いただくお客様を安全に目的地までご案内するとともに、その業務に携わる誰もが怪我や死亡に至ることがないように、安全のレベルを着実に向上させるために取り組むべき行動を具体化したものが「安全考動計画」です。

この計画では、具体的な数値目標を掲げ、安全性向上に向けて継続して取り組んでいくこととしています。「お客様が死傷する列車事故ゼロ」「死亡に至る鉄道労災ゼロ」を5年間を通じた目標に、「ホームにおける鉄道人身障害事故3割減」「踏切障害事故4割減」「部内原因による輸送障害5割減」を5年後の目標とし、この実現に向けて「安全・安定輸送を実現するための弛まぬ努力」「リスクアセスメントのレベルアップ」「安全意識の向上と人命最優先の考動」「安全投資」の4つの柱に重点的に取り組んでまいります。



# 「企業理念」・「安全憲章」

安全を最優先する企業風土の構築に向けて、当社の目指すべき姿、全社員が共有すべき価値観等を示した「企業理念」を制定し、平成18年4月1日から施行しております。あわせて、最大の使命である安全の確保に向けて、社員一人ひとりが具体的に行動を起こせるよう、安全に関する具体的な行動指針として「安全憲章」についても大幅な見直しを行いました。今後も引き続き、この「企業理念」「安全憲章」の具現化を図り、安全性向上、信頼回復に全力で取り組んでまいります。

## JR西日本 企業理念

1. 私たちは、お客様のかけがえのない尊い命をお預かりしている責任を自覚し、安全第一を積み重ね、お客様から安心、信頼していただける鉄道を築き上げます。
2. 私たちは、鉄道事業を核に、お客様の暮らしをサポートし、将来にわたり持続的な発展を図ることにより、お客様、株主、社員とその家族の期待に応えます。
3. 私たちは、お客様との出会いを大切に、お客様の視点で考え、お客様に満足いただける快適なサービスを提供します。
4. 私たちは、グループ会社とともに、日々の研鑽により技術・技能を高め、常に品質の向上を図ります。
5. 私たちは、相互に理解を深めるとともに、一人ひとりを尊重し、働きがいと誇りの持てる企業づくりを進めます。
6. 私たちは、法令の精神に則り、誠実かつ公正に行動するとともに、企業倫理の向上に努めることにより、地域、社会から信頼される企業となることを目指します。

## 安全憲章

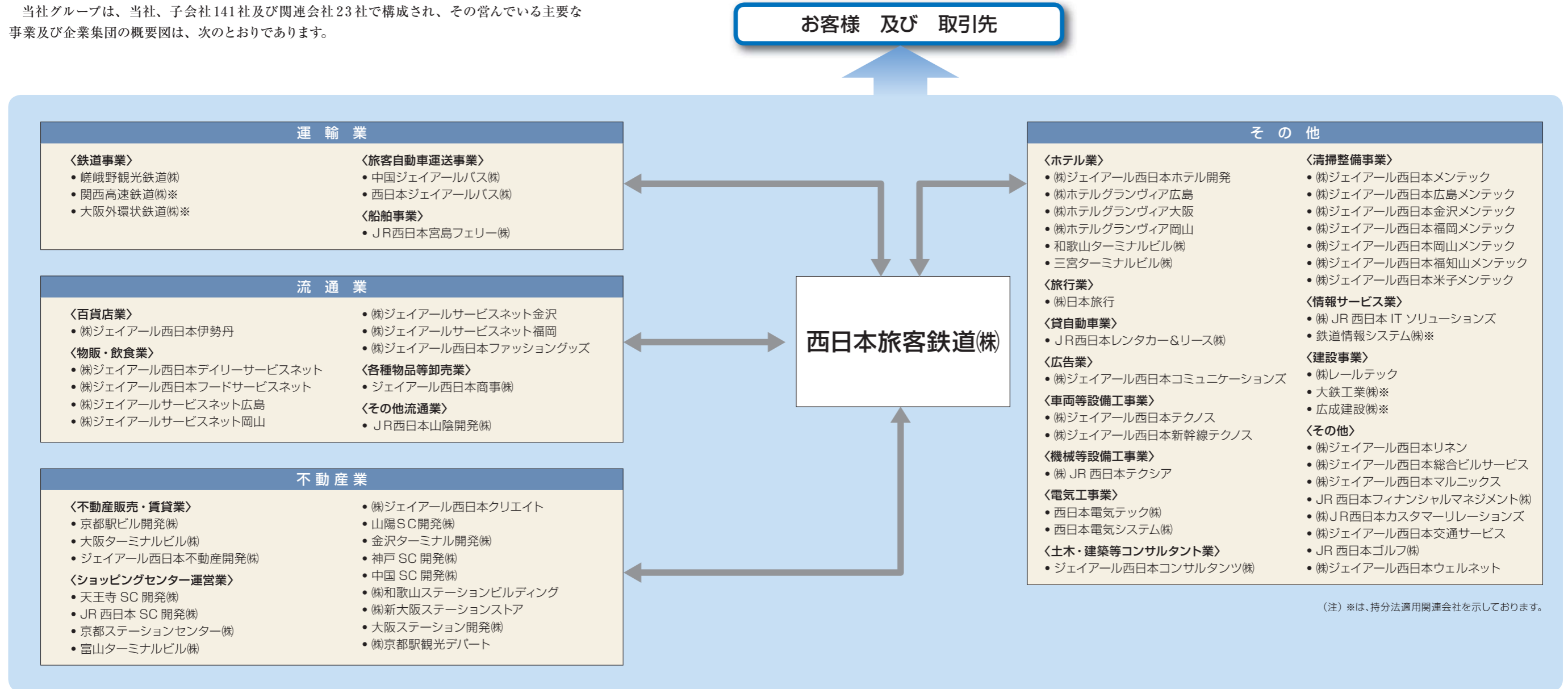
私たちは、2005年4月25日に発生させた列車事故を決して忘れず、お客様のかけがえのない尊い命をお預かりしている責任を自覚し、安全の確保こそ最大の使命であるとの決意のもと、安全憲章を定めます。

1. 安全の確保は、規程の理解と遵守、執務の厳正および技術・技能の向上にはじまり、不断の努力によって築きあげられる。
2. 安全の確保に最も大切な行動は、基本動作の実行、確認の励行および連絡の徹底である。
3. 安全の確保のためには、組織や職責をこえて一致協力しなければならない。
4. 判断に迷ったときは、最も安全と認められる行動をとらなければならない。
5. 事故が発生した場合には、併発事故の阻止とお客様の救護がすべてに優先する。

# JR西日本グループの概要

(平成25年9月30日現在)

当社グループは、当社、子会社141社及び関連会社23社で構成され、その営んでいる主要な事業及び企業集団の概要図は、次のとおりであります。



# 株主様アンケート集計結果のご報告

平成25年6月～7月に実施いたしました株主様アンケートにつきまして、多くの株主様にご協力をいただき、心より御礼申し上げます。主な集計結果を以下のとおりご報告申し上げます。

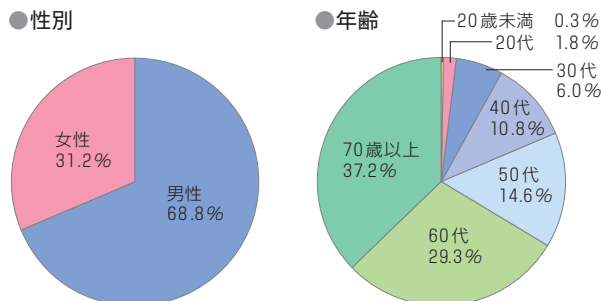
## 《実施概要》

実施期間：平成25年6月21日～7月19日（必着）

対象：平成25年3月末時点で100株以上保有の株主様

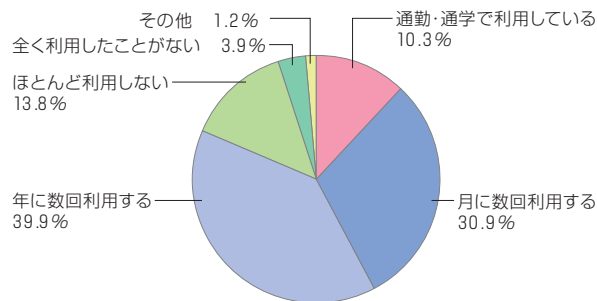
回答数：7,966名

## 【株主様について】

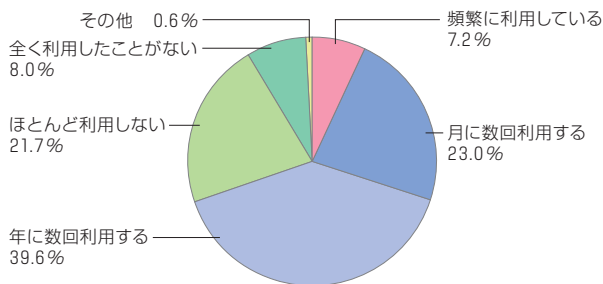


## 【当社ご利用状況について】

Q. 当社の鉄道をどれくらいご利用になりますか？

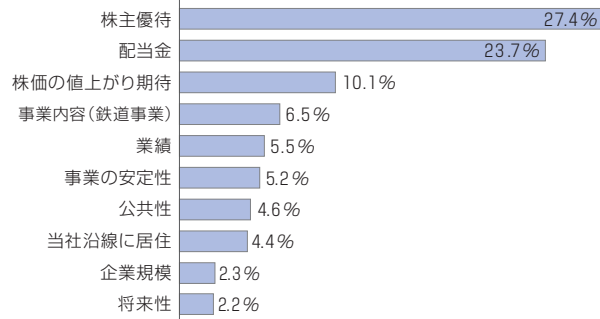


Q. 当社関連の商業施設（駅ビル、物販・飲食店舗等）をどれくらいご利用になりますか？

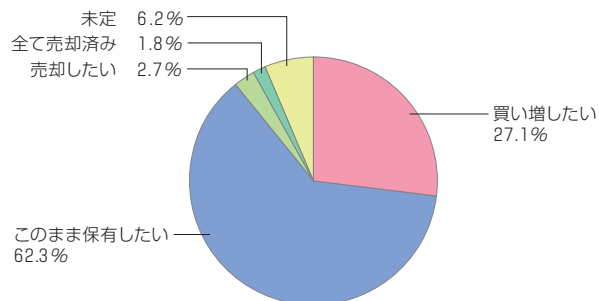


## 【当社株式について】

Q. 当社株式を取得・保有されている理由は何ですか？  
（複数回答可）《上位10位》

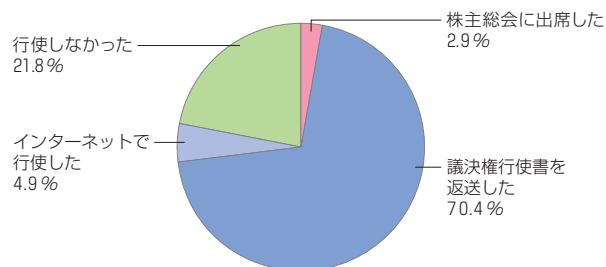


Q. 当社株式について、今後どのような方針をお持ちですか？



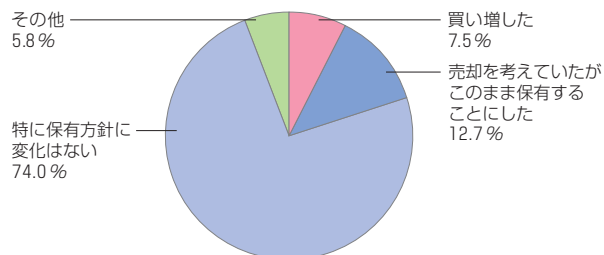
### 【株主総会について】

Q. 当社の今年の株主総会について、議決権を行使されましたか？



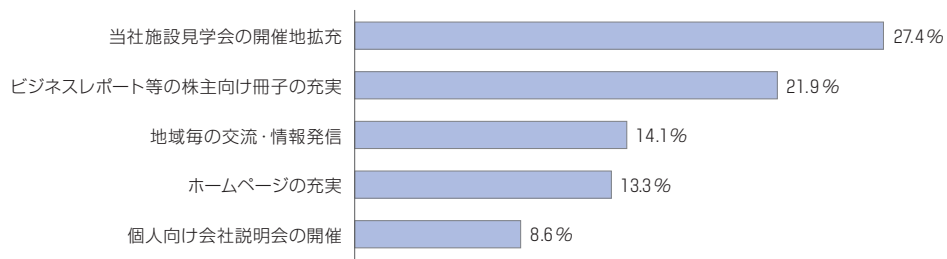
### 【株主優待について】

Q. 今年度発行分の株主優待より制度の拡充を行いましたか、これにより当社株式の保有方針に変化はございましたか？



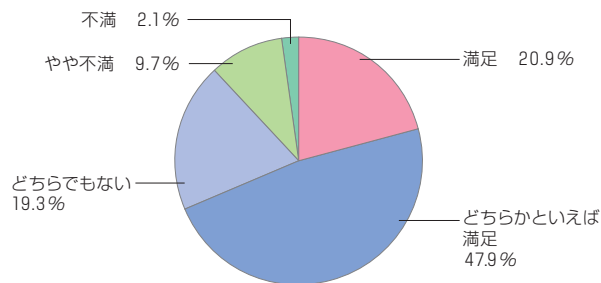
### 【株主の皆様への取り組みについて】

Q. 今後、株主様への取り組みとして望まれることは何ですか？（複数回答可）《上位5位》



### 【当社について】

Q. 株主様としての当社の評価をお聞かせください。



【当社の経営に望まれること】の自由記述欄では、「安全で安心できる輸送に最大の経営努力をしてほしい」など、「安全」に関するものが最も多く、「地域に根差した経営」を期待するお声も多数寄せられました。このほか、株主優待、施設見学会などの「株主施策」や「輸送」に関し、様々なお声が寄せられました。

ご回答いただきました結果については、株主様に向けた今後の取り組みの参考とさせていただきます。

# 株主様限定 当社施設見学会のご案内

株主の皆様にご理解を一層深めていただけるよう、次のとおり施設見学会を開催いたしますので、ご案内申し上げます。

**見学場所** 吹田総合車両所 京都支所 (京都府向日市)

**開催日時**

	開催日	予定時間	集合・解散場所
①	平成26年3月18日(火)	13:00～17:00頃	JR長岡京駅(予定)
②	平成26年3月19日(水)	13:00～17:00頃	JR長岡京駅(予定)



**募集人数** 同伴者様を含め100名様(各日50名様)  
※株主1名様につき、同伴者1名様まで可。なお、同伴者は株主の方でなくても結構ですが、小学生以上の方に限ります。

**対象者** 平成25年9月30日現在、当社株式を100株(1単元)以上ご所有の株主様

**参加費** 無料  
※ただし、集合・解散場所までの往復交通費及び宿泊費等は参加者様のご負担をお願いいたします。  
※駐車場をご用意しておりませんので、お車での来場はご遠慮ください。

**応募方法** 同封の参加申込はがきに必要な事項をご記入の上、お申込みください。  
なお、応募多数の場合は、ご所有株式数100株(1単元)につき1口のお申込みとして、抽選させていただきます。  
※参加申込はがきには、**参加希望日をいずれか一つ**お選びいただくとともに、**同伴者の有無**、ご連絡先となる**電話番号**を必ずご記入ください。  
(お名前・ご住所のご記入は不要です。)

**応募締切** **平成26年1月10日(金)必着**

**抽選結果及び詳細のご連絡** 抽選結果のご連絡及び参加いただく株主様への詳しいご案内は、平成25年9月30日現在の株主名簿に記載されたご住所宛に、平成26年2月下旬頃にご送付する予定です。

- その他**
- 車両所構内につき、見学ルートには段差、階段の昇り降りがございます。また、安全確保のため、ヘルメットをご着用の上、構内をお歩きいただくところがありますので、あらかじめご了承ください。
  - ご応募に際していただいた個人情報は、施設見学会の実施及び今後の株主様向け活動のためにのみ使用し、他の目的には使用いたしません。
  - 当日、当社にて撮影した写真等は、当社のIR・広報活動等において使用させていただく場合がございますので、あらかじめご了承ください。
  - 荒天等、諸般の事情により内容が変更または中止となる場合があります。その場合は当選された株主様にご連絡を差しあげます。
  - 当選した権利を他人(ご家族、他の株主様を含む)に譲渡することはできませんのでご了承ください(ネットオークションへの出品を含め、転売目的での応募は固くお断りいたします)。

## 下関総合車両所見学会 開催のご報告

約 100 名の株主様（及び同僚の方）をご招待し、中国地方を走る電車、気動車、客車の定期検査、修繕、様々な改造工事を専門的に行っている下関総合車両所をご見学いただきました。

開催日：平成25年10月3日（木）・4日（金）

開催地：下関総合車両所（山口県下関市）



当日は、施設見学に先立ち、JR 西日本グループの経営概況や車両所概要についてご説明を行いました。施設見学では、車体の上げ下ろし、車両の移動、車輪の取り外しや車輪の研削作業などに加え、JR 発足後も最近まで利用された旧型電車、車両の改善工事、作業に潜む危険を疑似体験できる「安全体感室」などをご見学いただきました。参加された株主様からは、「危険予知や安全対策など細やかな対応をしていることが分かった」「見学会をもっと開催して欲しい」といったご感想やご意見をいただきました。

今後も、多くの株主様に当社の取り組みをより知っていただき、末長くご支援いただけるよう、引き続きこのような見学会を実施してまいります。



当社の経営概況のご説明



車体上げ下ろし見学の様子



「安全体感室」見学の様子

# 株主優待制度

毎年3月31日の最終の株主名簿に記載された株主の皆様に対し、毎年5月下旬に以下のような「株主優待割引券」(以下「優待券」という。)をご送付いたします。

## ○鉄道優待割引

### 1.送付枚数

保有株式数	鉄道優待券(通常発行)	鉄道優待券(追加発行) 1単元(100株)でも3年以上継続保有
100株～ 299株	100株ごとに1枚	追加はございません
300株～ 499株	100株ごとに1枚	1枚追加
500株～ 999株	100株ごとに1枚	2枚追加
1,000株～ 1,099株	100株ごとに1枚	3枚追加
1,100株～ 10,099株	10枚+1,000株超過分 200株ごとに1枚	3枚追加
10,100株～ 19,999株	55枚+10,000株超過分 300株ごとに1枚	3枚追加
20,000株～	100枚	3枚追加

### 2.割引率

- 優待券1枚のご使用で50%割引  
※2枚以上の同時使用はできません。

### 3.割引対象のきっぷ

- 運賃……片道乗車券
- 料金……特急券、急行券、グリーン券及び指定席券
- 1枚の優待券で運賃と料金ともに割引となります。

### 4.割引対象の区間

- 当社の営業路線内相互発着となる乗車区間とします。

### 5.取扱箇所

- 当社の駅とします。  
※当社係員がいない駅など、一部お取扱いできない駅があります。

## ○JR西日本ホテルズ優待割引

### 1.送付枚数

保有株式数	宿泊優待券	レストラン優待券
100株～ 1,099株	100株ごとに1枚	100株ごとに2枚
1,100株～ 10,099株	15枚	30枚
10,100株～ 19,999株	20枚	40枚
20,000株～	25枚	50枚

### 2.割引率

- 宿泊優待……1泊1室の基本室料を30%割引
- レストラン優待……5名様までのご飲食料金を10%割引  
※一部ご利用いただけないレストランがあります。

### 3.対象となるホテル

- ホテルグランヴィア京都、ホテルグランヴィア大阪、ホテルグランヴィア和歌山、ホテルグランヴィア岡山、ホテルグランヴィア広島、奈良ホテル、三宮ターミナルホテル、ホテル「ホップイン」アミンク

## ○ヴィアイン優待割引

### 1.送付枚数

保有株式数	宿泊優待券
100株～ 1,099株	100株ごとに1枚
1,100株～ 10,099株	15枚
10,100株～ 19,999株	20枚
20,000株～	25枚

### 2.割引率

- 1泊1室の基本室料を30%または20%割引

### 3.対象となるホテル

- 30%割引…ヴィアイン東京大井町、ヴィアイン秋葉原、ヴィアイン新宿、ヴィアイン東銀座、ヴィアイン金沢、ヴィアイン名古屋新幹線口、ヴィアイン京都四条室町、ヴィアイン心齋橋、ヴィアイン岡山
- 20%割引…ヴィアイン新大阪、ヴィアイン新大阪ウエスト、ヴィアイン姫路、ヴィアイン広島、ヴィアイン下関

## ○ジェイアール京都伊勢丹・JR大阪三越伊勢丹優待割引

### 1.送付枚数

保有株式数	お買物	レストラン・喫茶・美容室	写真室	貸衣装	駐車場
100株～ 499株	100株ごとに3枚	3枚	1枚	1枚	6枚
500株～ 1,099株	100株ごとに3枚	6枚	2枚	2枚	12枚
1,100株～ 10,099株	45枚	6枚	2枚	2枚	12枚
10,100株～ 19,999株	60枚	6枚	2枚	2枚	12枚
20,000株～	75枚	6枚	2枚	2枚	12枚

### 2.割引率

- お買物、レストラン・喫茶、美容室、写真室、貸衣装の各優待…10%割引
- 駐車場優待…お買物による無料駐車サービス(通常2時間)を1時間延長

### 3.対象となる店舗

- ジェイアール京都伊勢丹、JR大阪三越伊勢丹(その他の店舗及び「スパコ・ジェイアール京都伊勢丹」ではご利用できません)

## ○日本旅行優待割引

### 1.送付枚数

一律1枚

### 2.割引率(1枚で2名様までご利用可能)

- 国内旅行商品「赤い風船」5%割引
- 海外旅行商品「マッハ」5%割引、「ベストエクセレント」3%割引、「ベスト」3%割引

### 3.対象となる店舗

- 日本旅行の直営店舗(一部店舗を除く)

